

安全な青少年活動のために

平成19年7月31日、市教育委員会が主催する自然体験を目的とした講座で、市内の小学生お二人の尊い命を奪う重大な事故を起こしました。
市ではこの事故を教訓に、継続した安全管理体制の充実を図るとともに、子どもの安全教育や指導者の育成・指導を中心として野外活動をはじめとする青少年活動の安全安心を確保するため、様々な取り組みを進めています。

「ニンニン忍者キャンプ」説明会での危険予知トレーニング



「安全・安心の自然体験モデル都市」をめざして

市教育委員会では、多くの子どもたちが安全安心に身近なところで自然体験活動ができる「安全・安心の自然体験モデル都市」をめざし、自然体験活動に関する施策を進めています。

毎年市教育委員会が行う「ニンニン忍者キャンプ」は、自然の大切さや野外活動の技術、危険から身を守る知識を学ぶ場として多くの子どもたちが参加しています。

また、様々な研修を実施し、行政、地域での指導者の育成・指導を行うほか、青少年自然活動支援センターを設置し、安全な自然活動実施のための支援を行っています。

地域の安全な活動実施のため活用を

地域や各種団体で実施される青少年活動の安全のため、市内の図書館や中央公民館に「安全対策マニュアル」をはじめとした関係図書を備えているほか、市ホームページでも「青少年の自然体験活動における安全対策マニュアル」をご覧いただけます。

また、青少年自然活動支援センターでは、市内の公益的な団体を対象に指導員の派遣やフライジャケットなど備品の貸し出しを行っていますので、ご利用ください。

異年齢の仲間とともに自然の大切さや野外活動の技術などを学ぶ「ニンニン忍者キャンプ」



市内各種団体の指導者などを対象に、自然体験活動の効果的な事業実施や安全対策のための意識や技術を学ぶ「指導者等研修会」

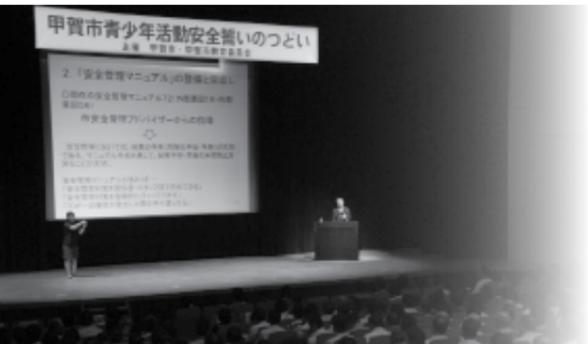
「甲賀市青少年活動安全誓いのつどい」を実施



「甲賀市青少年活動安全誓いの日」の7月31日、甲賀市青少年活動安全誓いのつどいをあいこうか市民ホールで開催し、市民の皆様をはじめ、市職員、教育関係者など716人の参加がありました。

つどいでは、初めに7年前の四万十川水難事故でお亡くなりになられたお二人への黙祷をささげ、青少年の野外活動をはじめとする市の全ての事業の安全安心の確保に全力を挙げて取り組むこととお誓いしました。

続いて、市の安全管理の取組報告と講演会を行いました。



安全な青少年活動の実施を誓う「甲賀市青少年活動安全誓いのつどい」

～つどい「講演会」から～ 「安全を育むリーダーシップ」

講師 兵庫県キャンプ協会 理事
公益財団法人神戸YMCA統括主任主事

むねゆきこうのすけ
宗行孝之介氏

「キャンプなどの野外活動を経験することは、心豊かな青少年の育成に効果的です。

その活動の中で、参加者一人ひとりの能力が最大限発揮されるようになると、グループ全体が活性化されます。このような個人の尊厳が認められ、協調が生み出されたグループは、様々な危険に対して柔軟な対応ができるようになります。つまり、安全を育むことは、グループを育むことです」というお話がありました。

子どもたちの成長に、グループワークがいかに大切かについてご講演いただきました。

事故の原因を踏まえた改善を実施—市全体の安全管理の取り組み—

四万十川水難事故の背景には、市における「安全管理体制の不備」「責任意識と安全意識の欠落」「安全管理能力と指導力不足」「目的・目標達成のための役割分担の不備」などの問題がありました。

市ではこうした事故原因を解消するため、指導者の育成のほか、次の安全対策を進めています。

- ・ 甲賀市事業執行安全管理体制審査委員会によるチェック
- ・ 甲賀市危機管理計画に基づく個別「安全管理マニュアル」の整備と見直し
- ・ 職場での安全管理推進運動の実施
- ・ 公共施設におけるAEDの配備
- ・ 青少年活動施設一斉安全点検

安心・安全の輪をまち全体へ—今後の安全管理の取り組み—

毎年の体制整備と安全運動の取り組みは定着していますが、さらなる強化のため市では、

- ・ 職員の安全管理の基礎知識の向上と職務上の安全管理体制の強化
- ・ 職場の現状に合った安全管理マニュアルの見直しと理解の徹底
- ・ 職場内における世代間コミュニケーションとチームマネジメントによる組

織の危機対応力の強化
・ 職場におけるヒヤリハット事例の情報共有と有効な改善策の構築
に取り組めます。

また、安心安全な地域社会を目指す「セーフコミュニティ」の取り組みを進め、安全安心の輪をまち全体に広げながら、さらに向上させていくことを目指します。



「職場安全管理推進リーダー研修」でのAED講習

問い合わせ

- ・ 安全対策マニュアルについて
社会教育課
☎06-8022 / ☎06-83800
- ・ 備品貸出について
青少年自然活動支援センター
☎06-8022 / ☎06-83800
- ・ 安全管理の取り組みについて
危機管理課
☎5-0665 / ☎63-4619